

平成19年度 飯館村職員採用候補者試験

次の内容で平成19年度飯館村職員採用候補者試験を行います。

採用職種	幼稚園教諭
採用人数	1名
受験資格	昭和36年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者で、幼稚園教諭と保育士の免許を有する者または平成19年3月までに取得見込みの者に限ります。 ただし、次の各号のいずれかに該当する者は、受験できません。 (1)成年被後見人または被保佐人 (2)禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者 (3)飯館村職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者 (4)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者
試験方法及び内容	(1)第1次試験 ①教養試験…職員として必要な一般知識および知能について、択一式による筆記試験を行います。 ②専門試験…幼稚園教諭としての専門的な知識および能力について、択一式による筆記試験を行いません。 (2)第2次試験 第1次試験合格者に対して、個別面接および小論文等による試験を行います。
資格審査	第1次試験合格者について、受験資格があるかどうか、申込書に記載されていることが正しいかどうかについて調査します。
試験の期日・場所及び発表	第1次試験 と き 平成18年7月23日(日) 受付 9:00~9:30 教養試験 10:00~12:00 専門試験 13:00~15:00 と ころ 福島市金谷川1番地 福島大学(☎024-548-8057) 発 表 平成18年10月上旬に飯館村役場前掲示場に合格者名を掲示するほか合否について通知します。 第2次試験 平成18年10月下旬(第1次試験合格者へ通知します。)
合格者の採用	(1)合格者は採用候補者名簿に記載され、成績順に村長が欠員状況等に応じて採用者を決定します。この採用候補者名簿の有効期間は原則として1年間です。なお、免許を取得できなかった場合には採用されません。 (2)初任給は、飯館村の給料表によるが、このほか通勤手当、超過勤務手当、寒冷地手当、期末手当、勤勉手当等が支給されます。
受験手続	(1)申込用紙の請求 申込用紙は飯館村役場総務課で交付。郵便で申込用紙を請求する場合は封筒の表に「短大卒程度試験申込用紙請求」と朱書し80円切手をはった宛先明記の返信用封筒を必ず同封して下さい。 (2)申込の方法 ①申込用紙に必要事項を記入して、飯館村役場総務課に提出。申込書を郵送する場合は、80円切手をはった自分宛の封筒を同封し、その表に「短大卒程度試験申込」と朱書して送付して下さい。 ②受験票を受領したときは、最近6ヵ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)1枚を写真欄にはって受験当日に必ず持参して下さい。(受験票がない場合、または受験票に写真がはってない場合は受験できません)
受付期間	平成18年6月5日(月)から同6月26日(月) (執務時間中に限ります。午前8時30分~午後5時まで) ※郵便による申込書提出の場合は、同6月23日(金)までの消印有効
お問合わせ	飯館村役場総務課 〒960-1892 福島県相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢 580-1 (☎0244-42-1611) ホームページにも案内が掲載されています。 URL http://www.vill.iitate.fukuhsima.jp

村では、平成15年から土地の有効利用と遊休農地の活用可能な新規作物の栽培実証として、「飯館村新規作物栽培実証事業」を実施しています。現在、新規作物としているのは、「銀杏」、「たらの芽」、「ふぎ」、「梅」、「ブルーベリー」の5つの作物に、平成17年度からはジヤガイモの「イータテベイク」、「行者ニンニク」の2品目が加わり、合計7品目を対象に実証栽培が行われています。

各作物の栽培者と導入本数の実績は、銀杏が38人で3634本。たらの芽が22人で13200本。ふぎが19人で4450本。梅が20人で1135本。ブルーベリーが83人で2769本。イータテベイクが16人で約10^ル。行者ニンニクが22人で19900本となつています。

すでに7つの研究会が設置され、それぞれの作物の「一大産地」と「会

▶佐藤康成先生(左手前)から定植指導を受ける会員ら(中央下が大河内さん)



員相互の交流を図る」ことを目的に事業が推進されています。今月号からシリーズで新規作物の「いま」を紹介していきます。

第1回目は「いいたて銀杏研究会」です。

本研究会は、平成17年7月7日に設置され、赤石沢備会長を中心に、栽培技術の研究・習得と、村産品に関する調査・研

究を目的に事業を進めています。

銀杏導入時から、元新潟県庁職員の佐藤康成先生と県普及部の指導を受けて今年が4年目の栽培です。

4月4日には写真のよう「定植現地指導会」を実施しました。定植は会員の大河内敏彦さんの圃場に集まり、一本ずつ「定植の仕方」、「剪定の仕方」等について佐藤先生から指導を受けました。

すでに、研究会全体では500本近くの定植が済みであり、赤石沢会長は「一日も早く銀杏の実をつけさせたい。一大産地を目指したい」と話していました。佐藤先生も「2、3年後には間違いなく銀杏が収穫できるので、いまから加工・販売を研究して欲しい」と期待していました。

○次号は「いいたて行者ニンニク研究会」です。

入札結果

入札日/平成18年5月1日 (単位:千円)

工事(業務)等の名称(実施箇所)	契約価格(税込み)	契約業者	完成予定
飯館クリアセンター焼却施設 炉内修繕工事 (小宮字沼平地内)	2,835	㈱野田工業所	平成18年7月末
飯館クリアセンター焼却施設 バグフィルターろ布交換 (小宮字沼平地内)	4,452	㈱野田工業所	平成18年7月末
白石小学校プール修繕工事 (白石字田尻地内)	2,415	㈱古俣工務店川俣支店	平成18年5月末